

審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課 公民館

会議名 令和6年度第1回諏訪市公民館運営審議会

開催日時 令和7年2月7日(金) 13時30分～15時00分

開催場所 諏訪市公民館 講義室

出席者 (委員) 伊藤委員長、藤田副委員長、小池委員、関委員、両角委員、涌井委員、小林委員
(欠席) 田中委員、松木委員
(オブザーバー) 今井教育委員
(事務局) 三輪教育長、細野教育次長、五味生涯学習課長、小泉公民館長、野村主査、市川主査、今井社会教育指導員

資料 令和6年度事業報告、公民館集約化の進捗状況について、意見交換資料

協議議題及び会議結果(要旨)

- 報告 (1)第二次諏訪市教育振興基本計画に基づく令和6年度の重点的取り組みについて
(2)公民館集約化の進捗状況について

(主な意見)

○この先文化、災害、高齢者の問題など地域が担う役割が増えていく中で、生涯学習課等で地域づくりの人材育成の講座等を企画していくことは可能か。

→地域の課題や現代的な課題、地域コミュニティのことなどについて、いかに講座を組み立てていくかは公民館の大事な課題であると考えている。また地域で活躍する人材をいかに育成していくかが公民館の役割の一つでもあるため今後の取組としていきたい。

2. 意見交換 テーマ「文化祭のあり方について」

近年開催している文化祭が、参加者あるいは文化祭を見に来る人が限定的になり減少している中であって、多くの人に参加してもらえる又は見に来てもらえるために、文化祭のあり方について意見を求めた。

(主な意見)

○文化祭を見たが、素晴らしい発表があるものの、残念ながら意識をもって来られる方が少ない。そういった方々をどうやって取り込んでいったらいいかは大変難しい問題だと思う。見てみれば毎年来てみたいとなるが、そういうところの動機づけが大変難しい。

○文化祭というと絵や書、焼き物などの展示だが、モルック、ボッチャ、吹矢など軽運動の体験を取り入れたらどうか。またボランティアを募り手伝ってもらうことも良い。

○文化祭は親子で見に来てもらいたい。小中学生の頃から公民館活動がどんなものかが理解できていると大人になってからもつながるのではないかな。そうすると親子で見に来られる、あるいは体験できるような文化祭になると良い。

○参加者が少ないということは、伝える手段を工夫する必要がある。またちょっとしたお楽しみがあると子どもたちが集まるのではないかな。

○他の子どものイベントで親子が熱心に参加する場面があった。若い親子が参加するイベントと文化祭が融合することができたら楽しい。

○例えば、文化センター前の広場で体験する、又はものづくりをするという場所が設けられたら魅力的になるのではないかな。

○親子でものを作るという意欲のある人は多い。ものを作るとなると滞在時間が長くなることで賑わいを創出することもできるのではないかな。